

第5回パークレンジャー養成講座 「みんなで森を調べよう！」

講師：前中 久行



第5回パークレンジャー養成講座を行いました。この日は 36 名の受講生が集まり、楽しく講義を受けました。

1. 前回の振り返り

はじめに、前回の講座を振り返りました。

2. ハイ・イハ・ドンゲーム

次に、集中力と瞬発力を鍛える、「ハイ・イハ・ドン」というゲームを行いました。チームに別れて、右手を重ね「ハイ」といったら一番下にある手を上に重ね、「イハ」といったら上の手を下に重ねます。「ドン」と言ったら一番下の手の人は上の人の手をたたき、下の人は逃げます。単純なようですが、実際にやってみると難しく、体と頭をほぐしました。

3. 講義:植生調査の仕方について

元大阪府立大学の前中先生に、「緑地・空間の本質」、「里地里山について」、「植生調査の目的と方法」、等についてお話いただきました。さまざまな里山の定義やあり方、都市公園として樹林を管理するために必要な調査方法について写真やグラフなどのスライドに基づき、詳しくお話していただきました。



4. 公園の散策・竹の観察

午後からはバスに乗って現地へ行きました。バスの中では前中先生に、現地までの沿道みどり景観の解説をしていただきました。公園では、モウソウチクとハチク・マダケの違いを実際の竹を見ながら学びました。



5. レンジャー広場での調査

その後、レンジャー広場にて調査実習を行いました。まず、調査をするためには、範囲を決める必要があります。メジャーを使いながら5m四方の調査区域をみんなで協力しながら決めました。次に調査区域内の植物の種類や優占度等を調査票に記入しました。ほとんどの方が初めての調査でしたので、先生の指導のもと、ひとつひとつ手順を確かめながら作業を進めました。また、植生調査に使用する道具についても名前や使い方を教わりました。



6. 雑木林の調査

レンジャー広場の調査を終えた後、雑木林に場所を変え、グループに分かれて植生調査を行いました。ここでは、毎木調査として、木の樹高や胸高直径の調べ方を先生から教わりました。個人によって胸高直径の数値には差が出ることや、三角関数を使って樹高を割り出す方法なども教わりました。



7. ホームルーム・閉会

最後に広場でホームルームを行いました。

《主な感想》

- これからの公園構想に役立つ植生調査の基本について初めて勉強した。このような調査のもとに色々な事ができあがってきているのだと思いました。
- 植生調査の奥深さに感銘しました。実習に関しては植物、特に種の同定力がいかに重要かを思い知らされ、日頃からあらゆる種の植物に関心を持ち、知識を自分のものとする事が大切であるかということに思い至りました。
- 植生の見学、調査の方法等、細かく指導を受け、勉強になりました。今後とも、全員の協力のもとで、個々の意見の集約を募り、緑地が良い方向に行動ができるようになればいいと思います。
- まずは植生調査をして、現状を知ることが重要だと思いました。植生調査は難しそうですが、大事なことなのでしっかりと覚えたいと思います。

